

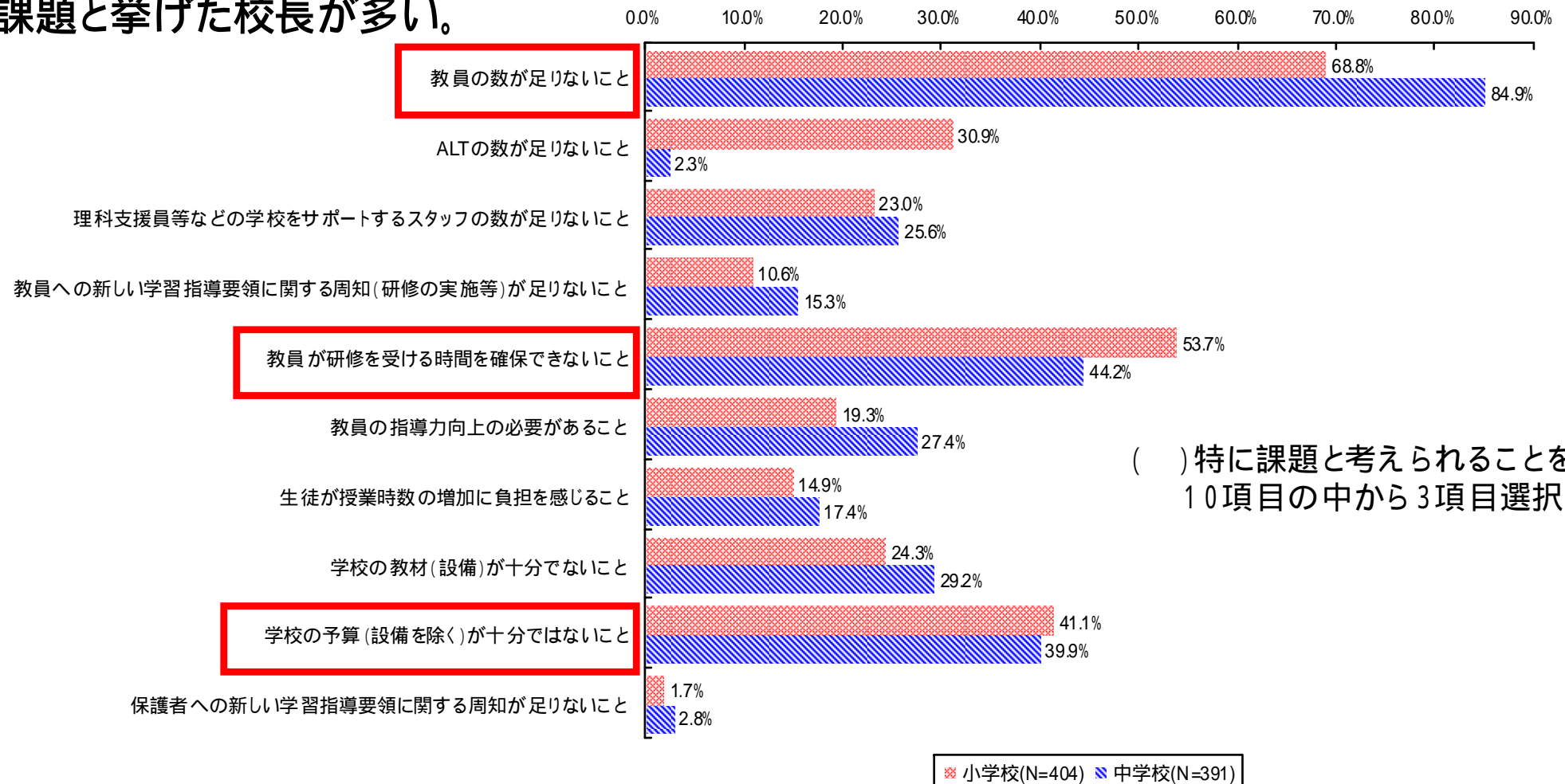
新学習指導要領を実施する上での課題について

資料 4

- 全国連合小学校長会及び全日本中学校長会が、それぞれの総会において、文部科学省と共同でアンケートを実施。実施日は、全連小は平成21年5月28日、全日中は5月20日及び21日。

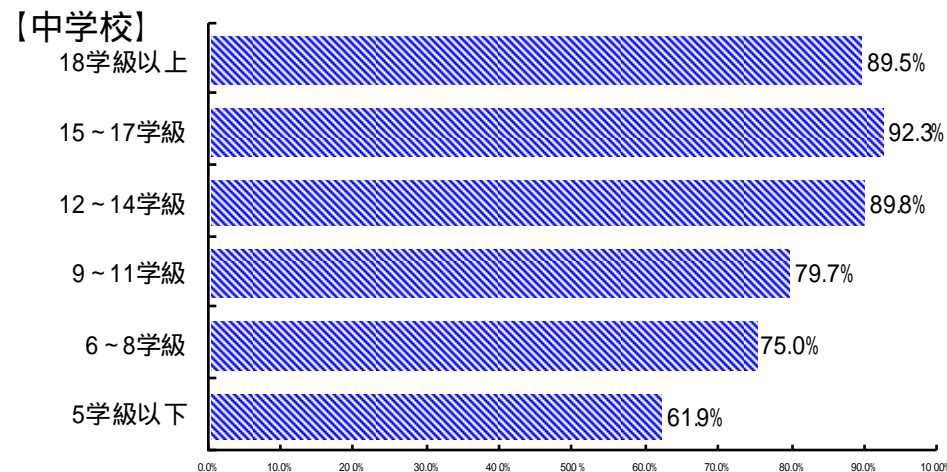
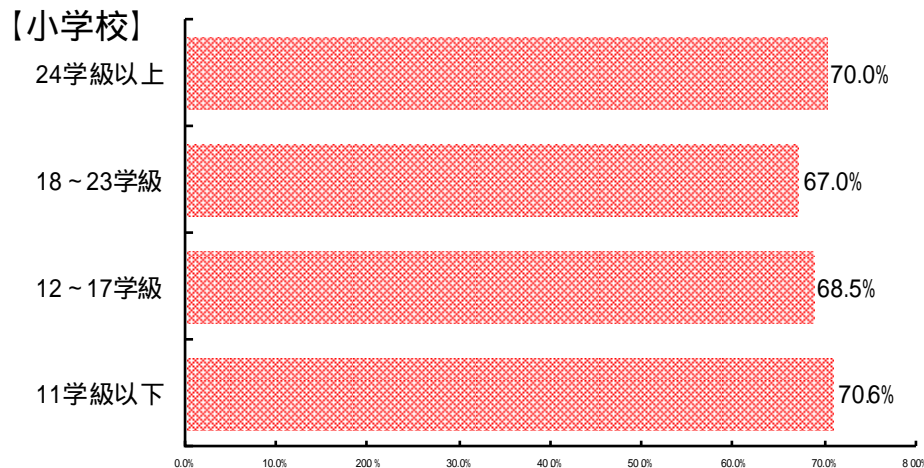
【全体概要】

小学校及び中学校のいずれにおいても、校長は、「教員の数が足りないこと」「教員が研修を受ける時間を確保できないこと」「学校の予算(設備を除く)が十分ではないこと」の3つを最優先の課題として挙げた。また、小学校は、中学校に比べ、「ALTの数が足りないこと」を課題と挙げた校長が多い。



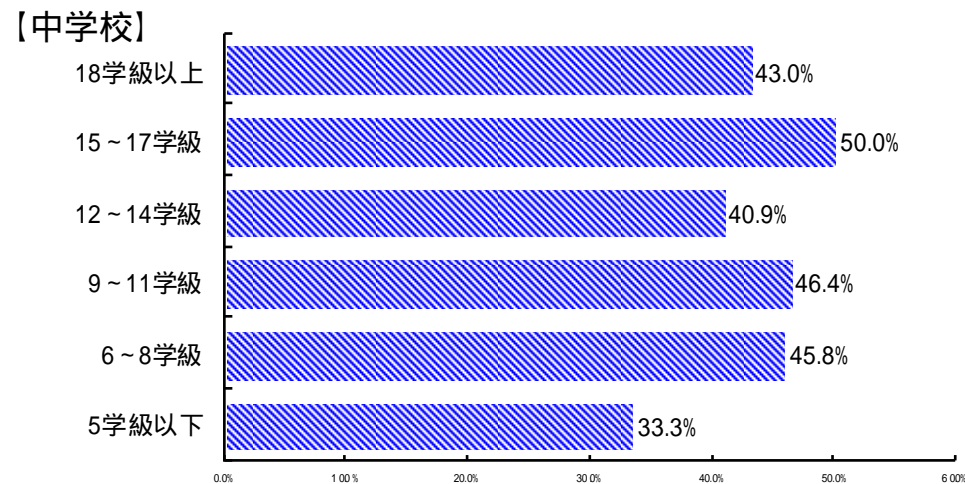
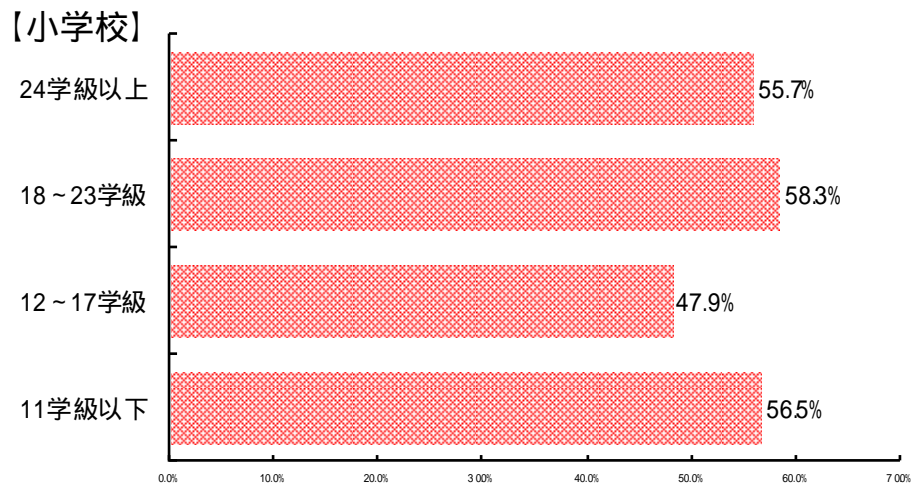
【教員の数足りないこと】

- 小学校においては、学級数に関係なく、概ね7割の校長が、優先度の高い課題として挙げた。
- 中学校においては、11学級以下の学校では、6～8割の校長が、12学級を超える学校では、概ね9割の校長が、優先度の高い課題として挙げた。



【教員が研修を受ける時間を確保できないこと】

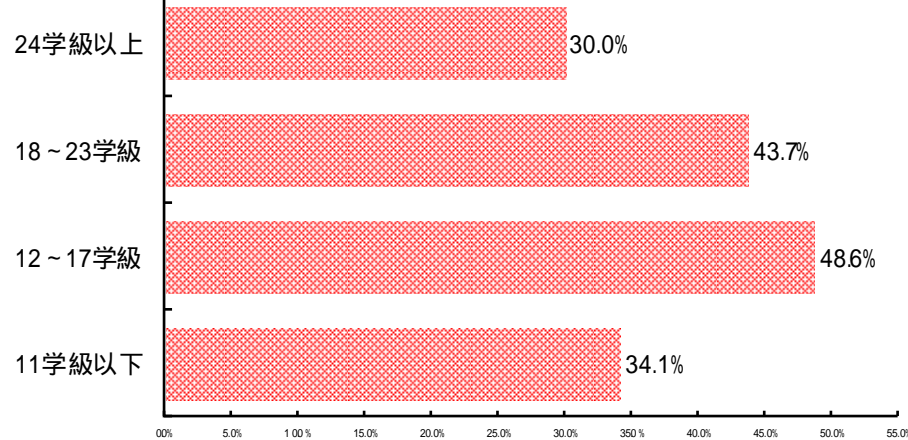
- 「教員が研修を受ける時間を確保できないこと」を優先度の高い課題として挙げる校長の割合は、学校種や学級規模が異なっても、あまり変わらない。



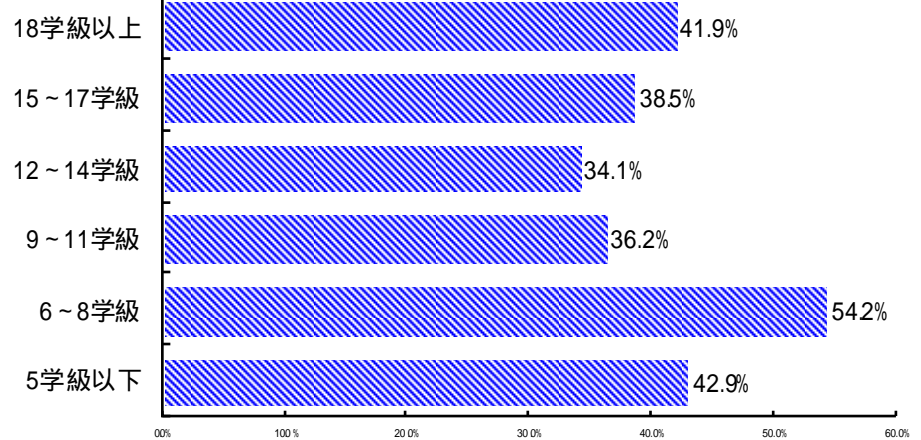
【学校の予算(設備を除く)が十分でないこと】

- 小学校については、12学級から23学級の規模の学校において、4割以上の校長が、「学校の予算(設備を除く。)が十分ではないこと」を優先度の高い課題として挙げた。

【小学校】

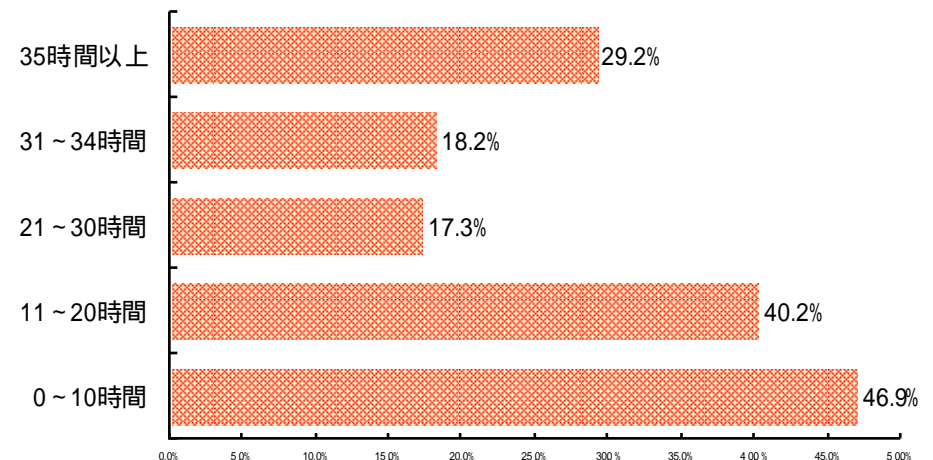


【中学校】



【ALTの数が足りないこと(小学校)】

- 年間の実施時間数が20時間以下の学校は、4割以上の校長が、35時間以上の学校においても、約3割の校長が、優先度の高い課題としてあげた。



自由記述で多く見られた課題(特に多かったものに下線)

【小学校】

- 授業時数増により教員が多忙化、負担増
- 授業時数増により会議・校務分掌・教材研究・研修等の時間が取れない
- 外国語活動に対する戸惑い, 負担がある
- ALTの質及び量に問題がある

【中学校】

- 理数教員に負担が偏在
- 理数教員は, 教材研究や授業準備の時間が不足
- 理数以外の教科担当が, 非常勤・免外での対応になる等, 他教科に影響
- 非常勤では, 質量ともに人材の確保が困難であり, 定数改善をお願いしたい
- 非常勤でもいいので人数を増やして欲しい
- 研修のための費用負担や余裕の確保をお願いしたい